

令和6年度健康づくり指導者セミナー（行政コース）報告書

1. 概要

【目的】

地域における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、市町村健康増進計画や保健事業等の効果的な評価・策定・運営方法を習得する。

【主催】

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団、愛知県

【方法】

動画配信サイト（YouTube）を利用した通信型研修

【対象者】

- (1) 愛知県内の市町村で保健衛生、高齢福祉、保険年金部門等の業務に携わる担当者と
その管理職
- (2) 愛知県内の保健所で市町村支援業務に携わる職員
- (3) 愛知県後期高齢者医療広域連合、愛知県国民健康保険団体連合会の職員

【受講資格】

- (1) オンラインによる受講環境（端末等）が準備できること
- (2) 本セミナーを全て受講できること

【定員】

なし

【視聴期間（アンケート回答期間）】

令和6年9月13日（金）午前10時から10月25日（金）午後5時まで
（令和6年9月13日（金）午前10時から11月2日（土）午前0時まで）

【募集期間】

令和6年7月16日（火）午前10時から10月18日（金）午後5時まで

【参加費】

無料 ※ただし、通信料は自己負担

【テーマ・カリキュラム】

テーマ

「効果的な保健事業の実施や健康増進計画を推進するために～地域の健康課題を把握する～」

カリキュラム

時間	内容	概要
開講・オリエンテーション		
18分46秒	<p>【講義】 「第3期健康日本21 あいち計画について」</p> <p>【講師】 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 中谷 圭甫</p>	新たに策定された「第3期健康日本21 あいち計画」について学ぶ。あいち新計画最終評価の概要や第3期の目標指標を踏まえて、各自自治体に求められていることについて考える。
17分05秒	<p>【情報提供】 「特定健診・特定保健指導情報データの取り扱いについて」</p> <p>【講師】 NTT データ東海株式会社 藤枝 栄次</p>	健康課題に応じた事業計画立案につなげるための「特定健診・特定保健指導情報データ」の操作方法や活用方法等の紹介を行う。
29分11秒	<p>【講義】 「地域の健康課題を把握するために ～データ分析・評価の考え方～」</p> <p>【講師】 名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生学 教授 八谷 寛</p>	地域の健康課題を正しく把握するためのデータ分析の考え方を学ぶ。分析結果から見える成果や課題を事業計画立案に役立てる。
29分39秒	<p>【事例紹介】 「既存データの活用方法と健康課題の把握について」</p> <p>【講師】 あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部指導者養成課 池田 達哉</p>	当センターが実施している市町村等技術支援事業から、既存データを活用しつつ地域の健康課題を把握するためのポイントについて紹介する。
諸連絡・閉講		

講義「第3期健康日本21 あいち計画について」

愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 中谷 圭甫 氏

愛知県の健康増進計画の第2期計画の最終評価結果と第3期計画の概要について講義をしていただきました。第3期計画では、第2期計画の最終評価の結果や国の健康日本21（第3次）の考え方を取り入れ策定され、基本目標である「健康長寿あいちの実現～健康寿命の延伸と健康格差の縮小～」に向けた基本方針や重点課題について紹介いただきました。



情報提供「特定健診・特定保健指導情報データの取り扱いについて」

NTTデータ東海株式会社 藤枝 栄次 氏

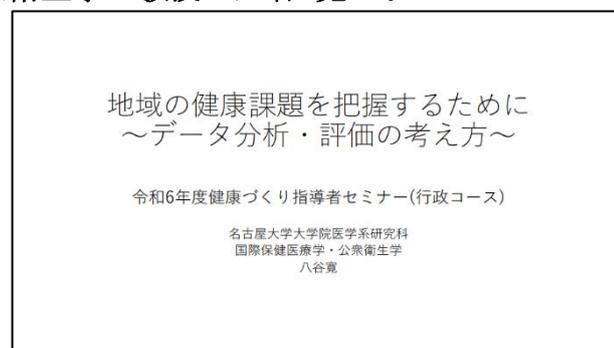
愛知県の「地域健康課題分析評価事業」の成果物として作成された「特定健診・特定保健指導情報データ」の取り扱いについて情報提供をしていただきました。格納された電子データの内容やその利用方法、新たな機能として「経年表」、「同規模自治体との比較機能」、「クロス集計機能」が追加されたことが伝えられました。



講義「地域の健康課題を把握するために～データ分析・評価の考え方～」

名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生学 教授 八谷 寛 氏

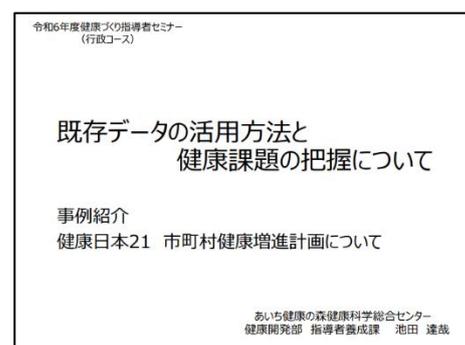
健康課題を把握するためのデータ分析・評価の考え方について紹介いただきました。集団の差の比較の際には「統計学的観点」、「公衆衛生的観点」から意味のある差なのかを考えることや、年齢や性別などが交絡因子として影響を与えている可能性があることを念頭に置くことの重要性が解説されました。



事例紹介「既存データの活用方法と健康課題の把握について」

あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部指導者養成課 池田 達哉

令和5年度市町村等健康づくり技術支援事業での取り組みや成果について事例紹介しました。地域特性を把握することの重要性や、活用するデータソースの特性や注意点等についてお伝えしました。また、定量的な健康課題の抽出に限らず、担当者が感じる課題等の定性的な課題抽出について支援した内容を紹介しました。



2. 申込状況・視聴回数について

【申込者数】107人

【所属別】

	市町村	保健所・県	その他
人数	95人	8人	4人
割合	88.8%	7.5%	3.7%

【職種別】

	保健師	管理栄養士	事務職	その他
人数	88人	6人	10人	3人
割合	82.2%	5.6%	9.3%	2.8%

【動画平均視聴回数】103.8回

3. アンケート結果について

【回収状況】62人（回収率57.9%）

(1) 回答者について

【所属別】

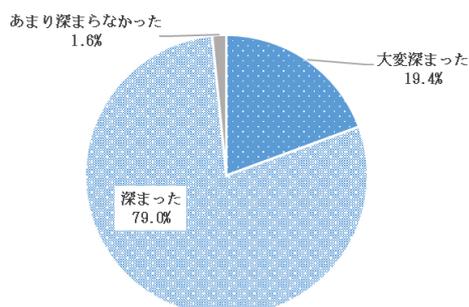
	市町村	保健所・県	その他
人数	54人	6人	2人
割合	87.1%	9.7%	3.2%

【職種別】

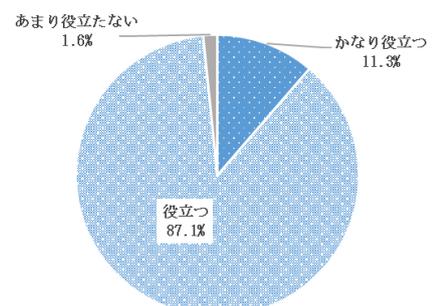
	保健師	管理栄養士	事務職	その他
人数	54人	1人	5人	2人
割合	87.1%	1.6%	8.1%	3.2%

(2) セミナー全体について

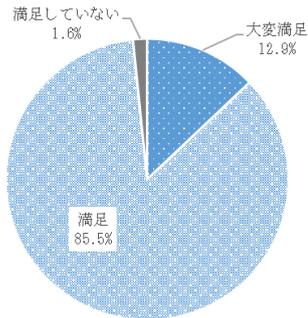
Q1. 地域の健康課題を把握するための知識が深まりましたか？



Q2. 今後の業務に役立ちますか？



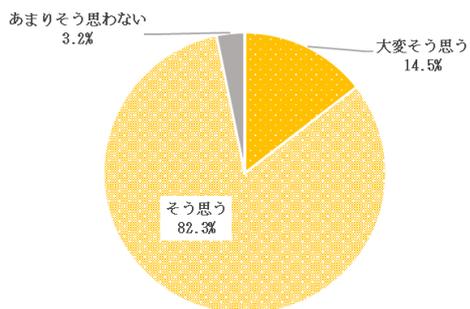
Q3. 満足度はいかがですか？



(3) 各カリキュラムについて

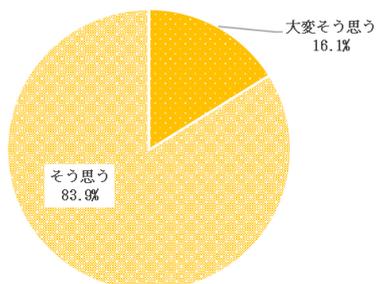
講義「第3期健康日本21 あいち計画について」

Q5. 愛知県健康増進計画は、あなたの取り組みの参考になりましたか？



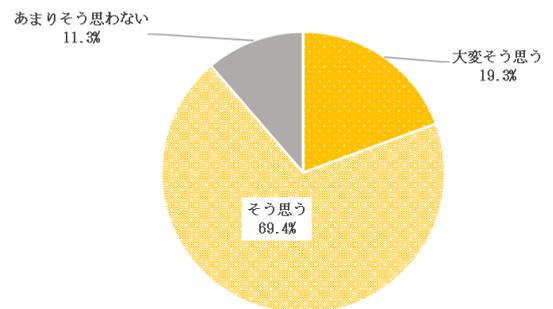
講義「地域の健康課題を把握するために
～データ分析・評価の考え方～」

Q7. 地域の健康課題を正確に把握するためのヒントが得られましたか？



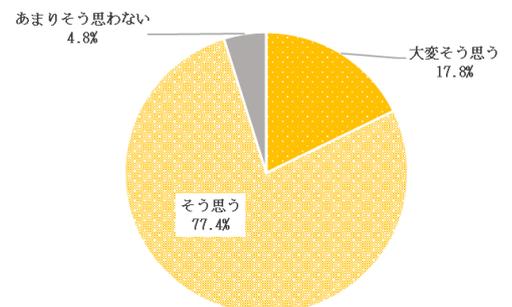
情報提供「特定健診・特定保健指導情報データの
取り扱いについて」

Q6. 特定健診・特定保健指導情報データは活用
できそうですか？



事例紹介「既存データの活用方法と健康課題の
把握について」

Q8. 支援内容について、あなたの取り組みに
活用できそうですか？



(4) 今回のセミナーについて

Q9. 今回のセミナーを受講して、どのようなことから始めてみようと思いますか？

(自由記載、一部抜粋)

- ・健康増進計画策定の参考としたい。
- ・愛知県の最終評価の結果や今後の方針を参考に事業展開をしたい。
- ・国や県の方針に沿って計画策定に着手しているが、改めてデータソースの活用方法は適切か否か等、改めて確認したい。
- ・「特定健診・特定保健指導情報データ」を早急に確認したい。
- ・提供されたデータの所在について明確にし、他部門同士の連携を強化したい。
- ・他部門が管轄している内容や持っているデータの共有ができると良いと思った。
- ・愛知県や同規模自治体との比較を行いたい。
- ・地域間を比較する際には年齢分布の違いを考慮したい。
- ・経年比較からまずは取り組みたい。
- ・交絡因子に注意して評価したい。
- ・経年変化を評価する際には、人口構成や高齢化率等の変化を考慮したい。
- ・抽出された健康課題の優先順位付けを行いたい。

Q10. 今回のセミナー全体に対して、ご感想やご意見がありましたら、ご記入ください。

(自由記載、一部抜粋)

- ・貴重な学びの機会であったと感じた。
- ・疫学や保健統計についての学びが深まった。
- ・「出生～健康～死亡」までのスライドを見て、ライフコースアプローチにも沿っており、人の生涯の流れがわかりやすくてよいと感じた。
- ・分析方法やデータをどう読むか難しいところがあるので、もっと基礎から学べる講座があると良い。
- ・実際にデータを配布して、操作をしながら受講できるような運営方法であれば、より理解できたかと思う。
- ・YouTube での受講は、受講環境や時間の制限が少なく大変助かるため、今後もこの形式を継続して欲しい。